

多能工化による生産性改革！時間当たりの限界利益向上に挑戦！

人手不足と技能承継に対応する
「多能工化」の進め方

[高岡市開催]

研修のねらい

資材や人件費の高騰、熟練従業員の高齢化、人財不足という大波に直面する今こそ、本気で技能承継や生産性向上に取り組むべき時です。

この研修では、「多能工化」という突破口から、これらの問題に対処する方法を学びます。実際に問題解決に向けて進むための具体的なポイントについて、演習を交えて学ぶことで、的確に自社の課題を把握し、自社に合った多能工化の実施計画を作成することができます。

研修のポイント

- ✓ 大切な技能の伝承や人手不足に対応する方法が学べます
- ✓ 自社の実際の姿を的確に把握出来る機会となります
- ✓ 多能工化を本気で進めるための実行から定着まで検討する機会となります

研修期間

2024年
11/6水・13水
12/11水

対象者

経営幹部、管理者

- ・ 人手不足に対応したい方
- ・ 技能伝承を進めたい方
- ・ 生産性向上に対応したい方

※経営者・経営幹部の方と、製造部や品質管理・生産管理・生産技術の部署の管理職の方等、2名以上でのご受講をおすすめします。

定員 12名

受講料 29,000円(税込)

会場

高岡市生涯学習センター
502 研修室

富山県高岡市末広町1-7
ウイングウイング高岡5階

月日	時間	科目	内容
11/6 水	9:20-9:30	オリエンテーション	
	9:30-12:30 昼休憩 12:30-13:30	技能伝承と平準化 多能工化の実践ステップ	技能伝承と平準化の意味を理解し、多能工化への向き合い方と変革を進める者の役割について学びます ・ 多能工化のメリットとデメリットを検証する ・ 実践ステップと留意点および改善指導との結び付け ・ 経営幹部責任者・管理者に求められる役割
	13:30-17:30	業務内容と現状の負荷の把握 スキルの課題分析と多能工化計画 予想される問題点の洗い出し	1.現状把握の方法を事例を交えて学びます ・ 業務(作業)内容の分類方法、業務(作業)の負荷調査 2.スキルマップの作成の仕方を学ぶとともに、多能工化計画の立て方や教育訓練のポイントを事例を交えて学びます 3.多能工化の失敗例の紹介 4.予想される問題点の洗い出し・整理(演習)
インターバル			
11/13 水	9:30-16:00 昼休憩 12:30-13:30	多能工化のシミュレーション 作業改善と作業標準	・ 指導者、指導を受ける人、仲介者(サポーター)の三者に分かれて、ロールプレイング方式で多能工化を体験します ・ 多能工化のシミュレーションを通じて、作業改善と作業標準(作業標準書)の必要性や方法を学びます
	16:00-17:30	次回までの課題説明	インターバル期間中の課題を説明します ・ スキルマップの作成または改訂 ・ 自職場の多能工化実施計画書づくり ・ 多能工化の教材準備(QC工程表、作業標準書、設備点検表、検査基準書等) ・ 多能工化で予想される問題点に対する対応策の検討
インターバル (約1ヶ月)			
12/11 水	9:30-12:30 昼休憩 12:30-13:30	課題発表と自由討論	・ 各自より課題の発表 ・ 課題についての自由討論
	13:30-16:30	講義・質疑応答・決意表明	・ 「多能工化による効果(労働生産性)と表彰について」 ・ 3日間の研修内容について質疑応答
	16:30-16:40	修了証書授与	

※カリキュラムは、都合により一部変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

講師紹介(敬称略)



株式会社実践マネジメント研究所 代表取締役

植條 英典 (うえじょう ひでのり) 氏

1958年岡山県生まれ。奈良県在住。大学で生産管理、IE技法、QC手法を学ぶ。中堅家具製造即会社の経営企画室勤務を経て1985年に中村技術士事務所に入所。以来、製造業を中心とした現場の改善と管理者の育成を手掛ける。2004年、実践マネジメント研究所を設立し、2016年2月に法人化。これまで全国各地で大手メーカーから中小企業まで約370社を指導。その経験を活かして中小企業大学校や各地の産業団体等で研修講師として活躍している。(マレーシアで品質管理セミナー講師も務める。)

モットーは、「常に企業は人なり」「改善に終わりなし」「ご安全に」。豊富な具体例を基にした分かりやすいセミナー内容と情熱あふれる指導ぶりには定評がある。



オンラインから簡単にお申し込みできます。

カンタン!

書類記入は
不要です

初回申込時にWEB企業IDをご登録いただくと、次回ログインから会社情報などが自動で入力され、研修申込を簡略化できます。

便利!

申込履歴の
確認ができます

WEB申込みでお申込みをいただくと、申込日、コース名、受講者情報などが記録され、過去の申込履歴などをご確認いただくことができます。



金沢キャンパス ホームページからお申し込みください。

<https://www.smrj.go.jp/institute/kanazawa/>

中小機構 金沢キャンパス



1 トップページ下部 **中小企業向け研修一覧 [2024年度版]** をクリックし、ご受講したい研修を選択

※既に応募者が定員を超えている場合は、**キャンセル待ち** と表示されています。お申込み後、当校からのご連絡をお待ちください。

2 研修詳細ページ内の **Web申込み** をクリックし、お申込情報を入力

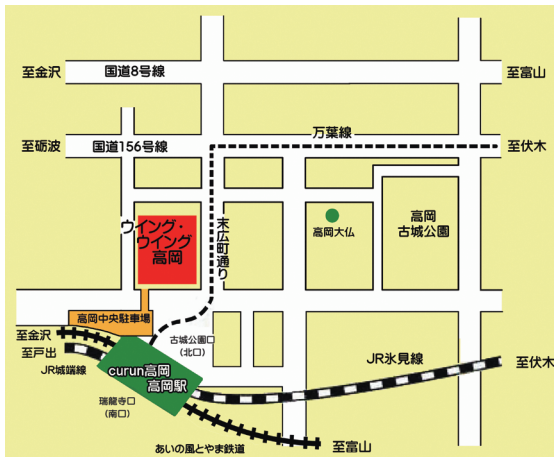
※ WEB 企業 ID をご登録済みの方：ページ左部にてログインいただくと、会社情報などが自動で入力されます。

WEB 企業 ID を未登録の方：お申込情報を入力時、「Web 企業 ID の登録」欄で「可」をご選択のうえ、お申込みください。
(登録を希望されない場合は「否」を選択)

3 入力後、「確認画面へ」をクリックし、入力内容が正しければ「申込み実行」をクリック

⇒申込処理完了後、「事務連絡先担当者」欄で入力いただいたアドレス宛に確認メールが自動送信されます。
(WEB 企業 ID を登録された方は、確認メールに従いパスワード設定を行ってください。)

➔ お申込み完了後、研修開講日の約1か月前頃に、当校から受講料振込みのご案内・受講案内等の文書をメールにてご送付します。



【受講対象企業】

資本金、従業員数のいずれかが下表に該当する中小企業の経営者・管理者・従業員・後継者の方に、ご受講いただけます。

業種	資本金	従業員数
製造業、運輸業、建設業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、その他の業種(*)	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

(*) その他の業種には、鉱業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、不動産業等が含まれます。

(*) 経営コンサルタント等の中小企業の支援に関する事業を営む方、中小企業診断士・税理士・公認会計士・技術士等の中小企業支援に関連する資格を有する方、教育・研修事業者の方は受講をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(*) 財団法人・社団法人・医療法人・社会福祉法人・NPO法人等の団体は受講できませんのでご注意ください。

※国(厚生労働省)の「人材開発支援助成金」、「雇用調整助成金」、自治体、商工会議所等で**受講料・その他諸経費の全額又は一部を助成する制度**が設けられている場合があります。詳細は、各機関の担当窓口にお問い合わせください。

※応募者多数の場合は、1社からの受講人数を調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※専用駐車場はございません。公共交通機関でお越しいただくか、ご自身で駐車場の手配をお願いします。

※宿泊施設はございません。宿泊が必要な方はご自身で手配をお願いします。